

## 東大阪市の特徴

・技術力の高いモノづくりをはじめとする中小企業が多数集積  
(事業所数24,644社)

\* (平成28年 経済センサス活動調査)

・6大学が市内及び周辺に立地し、学生の多いまち (学生数53,769人)

\* (各大学ホームページ 令和元年5月1日現在)

## 労働雇用環境の変化

- ・少子高齢化による人口構造の変化
- ・求人倍率の上昇 ・高齢者の躍進
- ・氷河期世代の雇用問題
- ・女性の社会進出の増加
- ・障害者の法定雇用率の引き上げ
- ・外国人労働者の受入れ拡大

## 労働雇用政策室における施策の今後の方向性 (案)

参考1

### 2側面からの支援

- ・働く意欲を持つ人への支援 (求職者支援)
- ・人材不足に悩む企業への支援 (企業支援)

人材不足の  
解消

人口流出・  
減少の抑制

産業の  
活性化

就労を通し  
た社会進出

まちの  
活性化

人口流出・  
減少の抑制

ひとりひとりが活躍

まちの  
活性化

そのためには・・・

### 多様な人材の積極的な活用

- ・少子高齢化による人口構造の変化により、人口は減少しているものの、就業者数は増加している。これは、女性と高齢者の活躍が要因となっている。
- ・障害者の法定雇用率が段階的に引き上げられている中、実雇用率も上がっており、今後の活躍が期待される。
- ・外国人労働者の受入れに関する法律が改正され、今後も需要が高まり、拡大することが予想される。

- ・就活ファクトリー東大阪
- ・対象者ごとの合同企業説明会
- ・企業向けセミナー
- ・シルバー人材センター など

年齢や性別などにかかわらず、働く意欲をもつ人と市内企業をつなぐことで、求職者側と企業側の両面からの支援を行う。

### 学生及び若者へのアプローチ

- ・本市は、市内及び周辺に6大学が立地し、学生のまちでもあるが、就職期になると、若者世代の転出が目立っているのが実情である。そのため、学生や若者に東大阪市内の企業に興味をもってもらい、就職してもらうことで、人材不足の解消につながり、人口の流出が食い止められる。
- ・氷河期世代の雇用への支援が必要とされている。

- ・就活ファクトリー東大阪
- ・合同企業説明会
- ・業界研究会
- ・人材育成塾
- ・中河内地域若者サポートステーション など

事業内容によっては、氷河期世代の支援を行うために、年齢の上限の引き上げる。また、学生を市内企業への就職に繋げることで、人口流出に歯止めをかける。

### 企業への支援

- ・人口構成が変化しており、少子高齢化が進んでおり、女性、高齢者の就業者数が増加している。また、障害者雇用の実雇用率も上がっており、企業側も、若者だけにこだわらず多様な人材に目を向ける必要がある。
- ・今後は減少するであろう、若者世代の雇用を確保するには、より効果的なアピールが必要となる。

- ・労政ニュース
- ・企業向けセミナー
- ・労働相談 など

魅力をアピールすることで認知度を高めていく。また、今後の労働市場の変化に注視し、必要な情報を提供していく。企業の意識改革を促進し、求職者と繋がる機会を確保していく。